

区分	内容
1 警戒態勢等	(1) サマーワに直接影響を及ぼす脅威情報 (2) イラク全域に係る脅威レベル サマーワ及びバスラは [] バグダッド及びモスルは [] ラマディは []
2 特記事項	[]
3 本日の業務	(1) 情報収集及び情報資料の送付等 (2) [] C2情報交換会参加のためインターナショナル・ゾーン訪問 (3) 大使館員交代支援 (4) ACSA書類手続
4 明日の予定	(1) 情報収集及び連絡調整 (2) 通信器材巡回点検要員のBIAFへの迎え
5 その他(備考)	なし

バグダッド日誌(12月1日)
<p>○ CASEの引っ越し</p> <ul style="list-style-type: none"> MNF-I C2スタッフとして、日本人LO [] が勤務している。 [] ている。 これまで、パレス内のC2の大部屋をC2の他の部署と一緒に共同使用していたが、このたび、別の部屋を専有使用できることとなり、引っ越しが行われた。引っ越し前日、長の米軍少佐と会った時、「引っ越しだって?」と聞くと、「広い部屋に移れるんだ」とうれしそうにしていた。 先日の雨の日の部屋清掃で一悶着あったことから、今回の引っ越しはどうか?と思っていた。案の定、引っ越し当日、O [] 怒って帰ってきた。どうしたのか聞いてみると、やはり数名のLO(少佐～中尉)が自分の机の上すら、清掃しようとしないう。米軍少佐が注意し、指示してもやらない。「なんだあいつらは」ブン!ブン! O [] 怒りは収まらない。 彼らが清掃をいやがる理由はよく分からない。コアリション事務所で清掃する時は、同じような国のLO(大佐～大尉)が全員でワイワイいながら仲良く清掃する。彼らが、内心どう思っているのかは知らないが、少なくとも清掃しないやつはいない。 選挙前後の抵抗勢力の可能行動を分析しつつ、引越の調整をしたり、怒るO [] をなだめたり、むずがるLO達をすかしたり、 [] 長の苦勞は大変だろうと思う。 <p>○ テレビが映った! 喜ぶバグダッドLO一同</p> <ul style="list-style-type: none"> 10月に衛星放送の受信装置が壊れ、テレビが見られなくなった。以来、日本国内の情報は、日々送られてくる各種資料及びインターネットのニュースだけになった。「映像」による情報がなくなった。 一般情報の大部分は、テレビから得られるニュースに頼っていたこともあり、日々「浦島太郎」になっていくのを感じていた。たまたま家族とメールや電話で話すとき国内で様々なことが起きていることを知り驚くことも多かった。 日本国内の情報等をタイムリーに得られるだけでなく、「音」のない世界にテレビが帰ってくると、何か「ホッ」とするような安心感を感じる。あれこれ記録をしていて、テレビが映ったときは、思わず「歓声」を上げた。 統幕や陸幕、分遣班、サマーワの関係者の皆様のご尽力に感謝申し上げます。 本当にありがとうございました。 <p style="text-align: right;">(バグダッド連絡班一同)</p>